

真飛 聖

J L

金子 昇

草村礼子

# サラーマット

～あなたの言葉で～



## 企画のねらい

### SNS時代における外国人の人権

今回の作品のテーマは、「SNS時代における外国人の人権」です。

訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。

また、スマートフォンの急速な普及によって、SNS内でのいじめなどが深刻化し、社会問題になっています。一人ひとりがSNSを利用する際のマナーや配慮について考えていく必要があります。

この作品の主人公・珠美は、新しく職場にきたフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。

「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマを制作します。

企 画／兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会  
企画協力／兵庫県教育委員会  
制 作／東映株式会社

■上映時間 36分 本体価格 80,000円(税抜)  
DVD…字幕副音声版 [C#6522]



樫本珠美は訪問介護事業所のサービス提供責任者。フィリピン人の介護福祉士、ミランダ・ロペスが職場に入ることになり、珠美は戸惑う。「何か問題が起きたらどうするのよ」と、夕飯の席で夫の拓也と娘の小春に愚痴る珠美。一方、小春は食事中もスマートフォンを手放さず、級友のSNSをチェック。「私だけスルーしたら仲間外れにされる」と。珠美もママ友SNSに気を遣い、無視できない。そんな母娘の姿に呆れる拓也。

ミランダが担当することになったのは、仙田令子という独り暮らしの女性。珠美は初日だけミランダに同行する。立ち会っていた令子の息子の元喜は、外国人が担当することに不満を露わにするが、珠美はなんとか説得する。

その後もミランダの仕事の様子を厳しくチェックする珠美。しかし、注意をするたびに「どうして」と問い質され、次第に珠美はイライラしてくる。



数日後、珠美にミランダから電話がかかってきた。アパートの大家で町内会長でもある川村和夫と揉めたようだ。珠美は事情を確認するためミランダの元へ。ゴミ出しのルールを守れていないと、ミランダが疑われたらしい。「悪いことするために日本に来たんじゃない」と涙ながらに訴えるミランダ。珠美も後押しし、川村は疑ったことをミランダに謝る。

ある日、令子が飼っているインコのコマちゃんが逃げ出してしまった。自分の責任でもないのに、必死にコマちゃんを探すミランダ。家族と離れて暮らしているミランダは、家族に会えない寂しさが痛いほどわかっていた。そんなミランダの想いに心を動かされた珠美も「絶対見つけよう!」と行動を起こす。



「たずね鳥」のチラシと動画を作り、SNSにもアップして情報を発信することを思いついた珠美。チラシの外国語版も作るために、川村を通じて地域に住む外国人に声をかけると、たくさんの人が協力してくれた。小春はクラスに転校してきた中国人の陳欣依チェンシンイーを連れてくる。偏見を持たずに欣依に接する小春の姿を珠美は嬉しそうに見つめる。

無事に発見されたコマちゃんを令子へと届けた帰り道、ミランダに感謝の言葉を伝える珠美。珠美は、ミランダのおかげで大切なことに気づくことができた。国が違えば、いろいろな違いがある。でも違うから面白い。深く心を通わせた二人の歌声が夕暮れの空に響いていく…。



## 学習の ねらい

- 職場や地域に新たに迎えた外国人との関わりを通して、国籍、人種、言語、習慣、宗教などの異文化に対する理解を進め、共に生きていくことについて考える。
- SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は、情報モラルを身に付け利用することにより、他者との相互理解を促すツールにもなりえることについて考える。